

**製品名: ALDH3A1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06764**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALDH3A1
別名	ALDH3A1; ALDH3; Aldehyde dehydrogenase, dimeric NADP-preferring; ALDHIII; Aldehyde dehydrogenase 3; Aldehyde dehydrogenase family 3 member A1
遺伝子 ID	218.0
SwissProt ID	P30838
免疫原	抗血清はヒト ALDH3A1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 236-285

**背景**

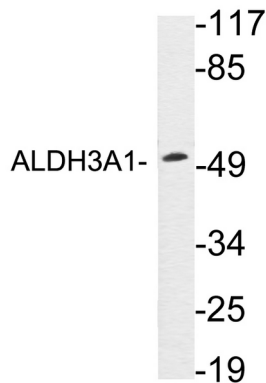
アルデヒド脱水素酵素は、様々なアルデヒドを対応する酸に酸化します。アルコール由来のアセトアルデヒドの解毒、コルチコステ

ロイド、生体アミン、神経伝達物質、脂質過酸化の代謝に関与しています。この遺伝子によってコードされる酵素は、細胞質ホモ二量体を形成し、芳香族および中鎖（炭素数 6 以上）の飽和および不飽和アルデヒド基質を優先的に酸化します。この酵素は、紫外線および 4-ヒドロキシ-2-ノネナルによる角膜の酸化損傷に対する抵抗性を促進すると考えられています。この遺伝子は、17 番染色体のスマス・マゲニス症候群領域に位置しています。同一のタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング変異体が同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 9 月],触媒活性: アルデヒド + NAD(P)(+) + H(2)O = 酸 + NAD(P)H.,機能: ALDH は、アルコール由来のアセトアルデヒドの解毒において主要な役割を果たす。コルチコステロイド、生体アミン、神経伝達物質、脂質過酸化の代謝に関与する。このタンパク質は芳香族アルデヒド基質を優先的に酸化する。毒性アルデヒドの酸化にも関与している可能性がある。 , 類似性: アルデヒド脱水素酵素ファミリーに属する。 ,サブユニット: ホモ二量体。 ,組織特異性: 胃、食道、肺に高濃度で存在し、肝臓と腎臓には低濃度で存在する。 ,

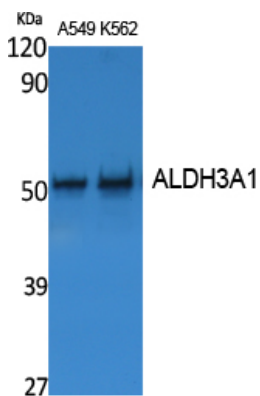
## 研究分野

解糖系/糖新生;ヒスチジン代謝;チロシン代謝;フェニルアラニン代謝;シトクロム P450 による異物代謝;薬物代謝;

## 画像データ



ALDH3A1 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



ALDH3A1 ポリクローナル抗体を用いた A549、K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。